

一斉学習 ■ 同時進行型

岡山県新見市立高尾小学校  
才田 雅美 / ケビン・モツシャー

実践タイトル 電子黒板とタブレットPCを用いて英語表現

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

・個人で表現練習をし、友だちやALTに、自分の考えを視覚的な地図として提示する。

その他 (GoogleMap™)

・学校から郵便局までという身近な道案内をするという設定で、地図上で英語を使って教え合う活動をする。

参考にしてほしいポイント

- ・操作性がよく、持ち運びも簡単なタブレットPCを使って、自分の考えを導き出し、まとめ、さらに友だちや教師に考えを伝えるための視覚的資料として利用したこと。
- ・タブレットPCを操作しながら表現する練習ができた。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・ALTと挨拶をし、体調や天気、日付などで会話をする。 ・ALTとHRTのスキットを見て、本時のめあてを知る。	・電子黒板
展開 10 40	・本時で使う表現の練習をする。 ・簡単な地図を見ながら発話する。 ・地図を使って郵便局への行き方を考える。 ・ペアで練習する。	・電子黒板 (写真1～3) ・自作フラッシュ型教材 ・タブレットPC ・Google Earth™ / Google Map™ / Adobe® Ideas
まとめ 40 45	・ALTに郵便局への行き方を教える。 ・本時の振り返りをする。 ・ALT、HRTと挨拶をする。	・電子黒板 ・タブレットPC ・レスポンスアナライザーシステム

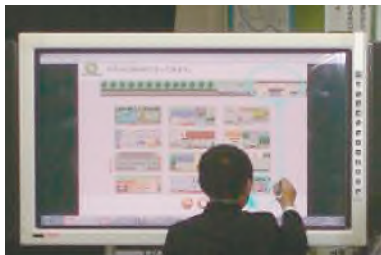


写真1: 視覚教材を見ながら言い方を練習



写真2: 自分の道案内を地図を使い考える (GoogleMap™)



写真3: 自分の考えを教え合う

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・自分で書き込み、それを見せ合うという一連の活動をタブレットPCで行うことによって、意欲的に取り組むことができた。間違えてもすぐに消せるので安心して使うことができた。地図上で視覚的に道案内をすることで、わかりやすかった。

活用効果

評価の観点	・コミュニケーションへの関心・意欲・態度	具体的変容	・タブレットPCは、修正や訂正が瞬時にできるため、自分の考えを練り上げる場面や友だちと考えを出し合って改善していく場面等に、簡単に使い便利である。色や線の太さを変えること等、自分なりに工夫することによって、児童は、考えを深めたり広げたり、また、相手に伝えたりすることが、より効果的にできた。
-------	----------------------	-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実践の手応え

- ・児童がタブレットPCや電子黒板を使って意欲的に楽しく活動することができた。
- ・児童と教師が双方向で送信し、児童の考えを共有することで児童が友だちの考えを知ることができた。